日本の人口構造と医療

## 2055年には皆さんも高齢者

生産年齢人口（15歳～64歳）の減少が続いています。日本のほとんどの業種が人材不足状態にあり、企業は定年延長などで対応しています。

では医療の将来はどうでしょう。右のグラフは国勢調査の集計値をベースに作成されたものです。

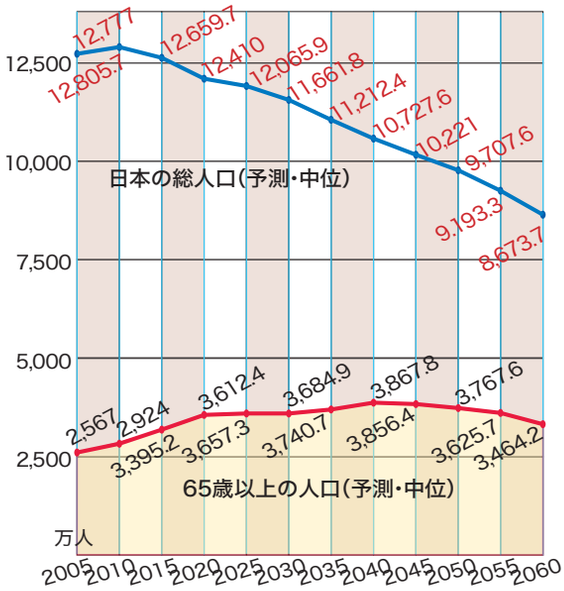
このデータは、高齢者の年金を何人の若い人が支えているかという資料にもなっています。人口が急速に減少し続けているのです。

グラフを見ると、日本国民の総人口が大きく減少するのに、65歳以上の人口は大きく変化しないことに気づきませんか。そして2055年には皆さんも高齢者に仲間入りします。

長期にわたって高齢者の人口が減少しないのです。

**日本の総人口の推移**

（2005年・2010年は実績、その他は予測）




**出典:日本の将来推計人口**（国立社会保障・人口問題研究所）

## 患者の多くが65歳以上?

右のグラフは、日本の医療費の推移です。

厚生労働省は薬価引下げ、ジェネリック医薬品の処方促進など医療費の削減を進めています。それでも国民医療費は拡大を続けているのです。

医療費総額と比例して伸びているのが65歳以上の医療費です。65歳以上の年代は医療サービスを必要とする人が多い年代なのです。

2015年12月7日に厚生労働省が「平成28年度診療報酬改定の基本方針」を発表しました。

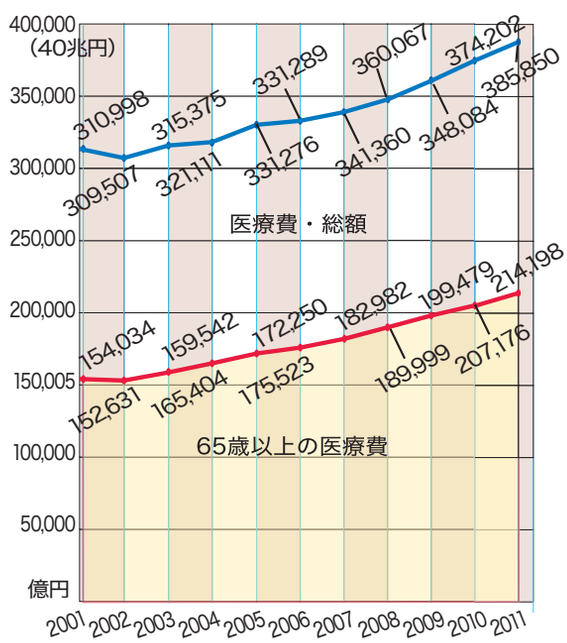
この方針は団塊世代が75歳以上になる平成37年（2025年）を見据えた中長期の政策です。今後10年間の方針ということになります。

医療費の削減やチーム医療の充実による医療従事者（医師・看護師など）の負担軽減、在宅医療などが考えのベースにあり、薬剤師の役割りが多くなっています。とくに「かかりつけ薬剤師・薬局」がキーワードです。

患者の薬物療法の有効性・安全性確保のため「かかりつけ薬局」を重視し、服薬指導の一元的な把握と薬学的管理・指導を求めています。その中で、残薬や重複投与、不要な多剤投与・長期投与を減らすことも目的です。

厚生労働省の本気度が感じられます。医療分野は、行政の政策により環境が変化する業界といえます。

**日本の医療費・推移**




**出典:厚生労働省「国民医療費の年次推移」**

日本の人口構造と医療

## 主な疾患の外来患者数

グラフは年齢別の患者数を表したもの。患者数が増加する病傷は、高齢化と関連しています。例えば、高齢化するほど糖尿病や高血圧性疾患、悪性新生物、心疾患などの患者数が増加しています。いずれも高脂血症や加齢、肥満などに関連した病傷です。新たに「主な病傷別患者」に加えられた骨折も、骨粗鬆症など加齢が考えられます。

厚生労働省は、団塊世代が75歳以上になる2025年を念頭に「平成28年度診療報酬改定の基本方針」を公表しました（2015年12月7日）。

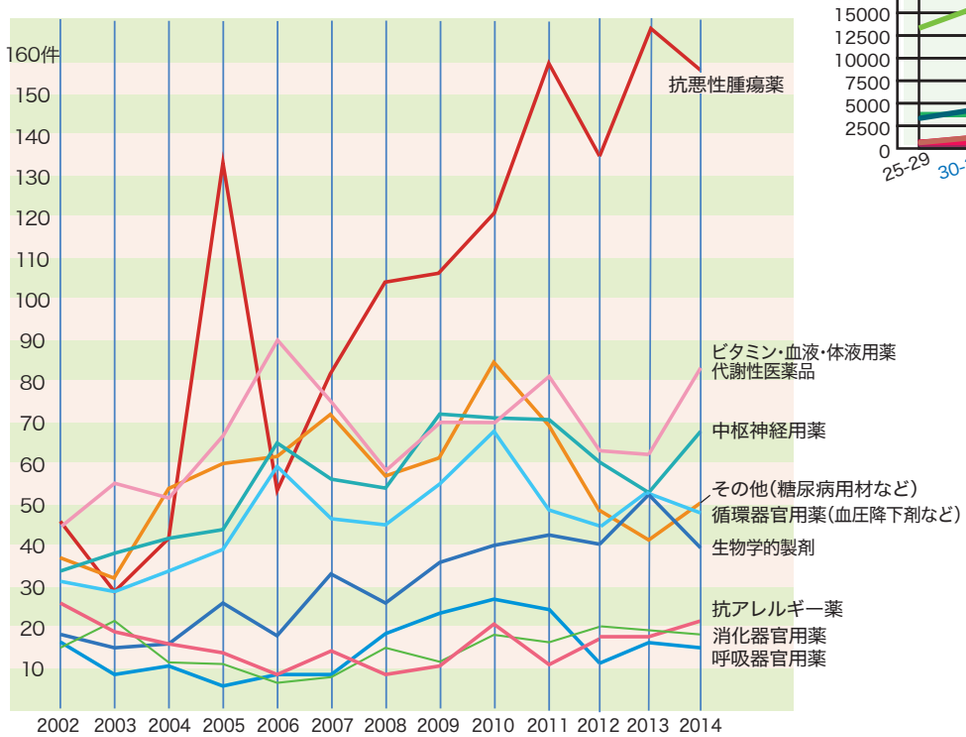
今、団塊世代は65歳以上になっています。さらに糖尿病や高血圧性疾患、悪性新生物、心疾患などの疾患を抱える人口が増大することが考えられます。高齢化の進展とともに患者数の増加が予想されているのです。

## 患者数増加に対応した新薬開発

下のグラフは、製薬会社などが独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）に提出した治験届出数（初回）の推移を示しています。

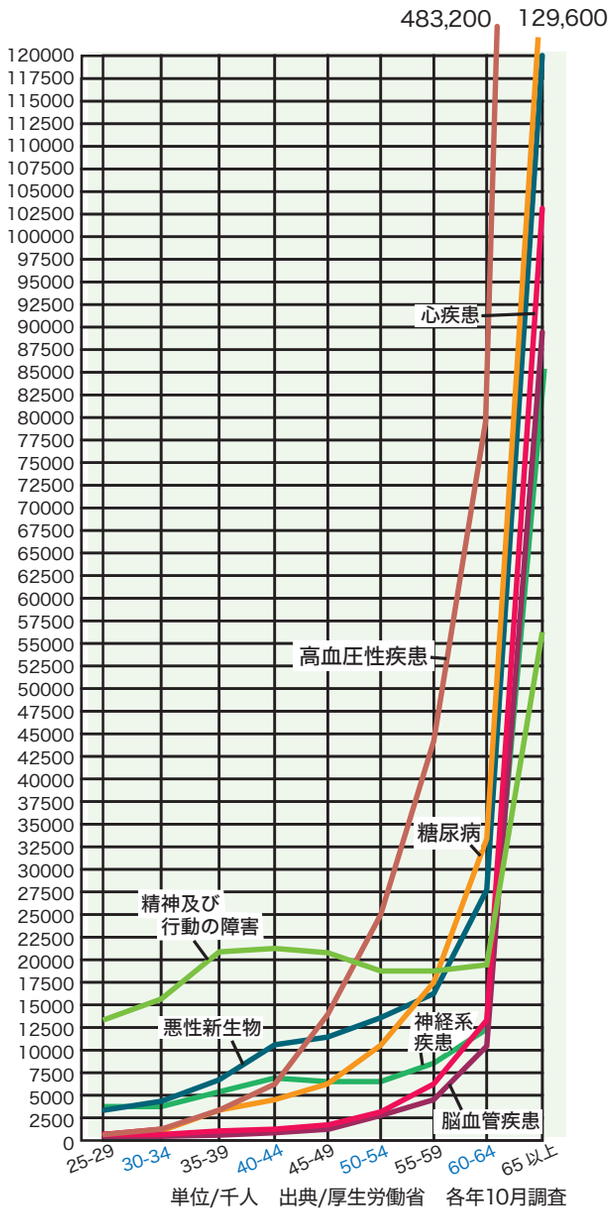
医薬開発トレンドは、抗悪性腫瘍薬や代謝性医薬品、中枢神経用薬、糖尿病用材にあることが分かります。とくに抗悪性腫瘍薬の届出数は群を抜いています。

○薬物の治験計画届出件数の推移（PMDA）
https://www.pmda.go.jp/files/000205845.pdf




>>各社の開発品 → 登録会員サイトでご覧ください（準備中）

### 年齢別・主な疾患の外来患者数



日本の人口構造と医療

## 男性・女性で異なる死因の順位

悪性新生物、心疾患、脳血管疾患を三大死因といいますが、男女とも60歳を超える頃から増加します。

男性の死因トップは悪性新生物。女性は心疾患が死因のトップです。共通しているのが肺炎で亡くなる患者さんの数です。肺炎による死亡率は高齢化とともに高くなっています。

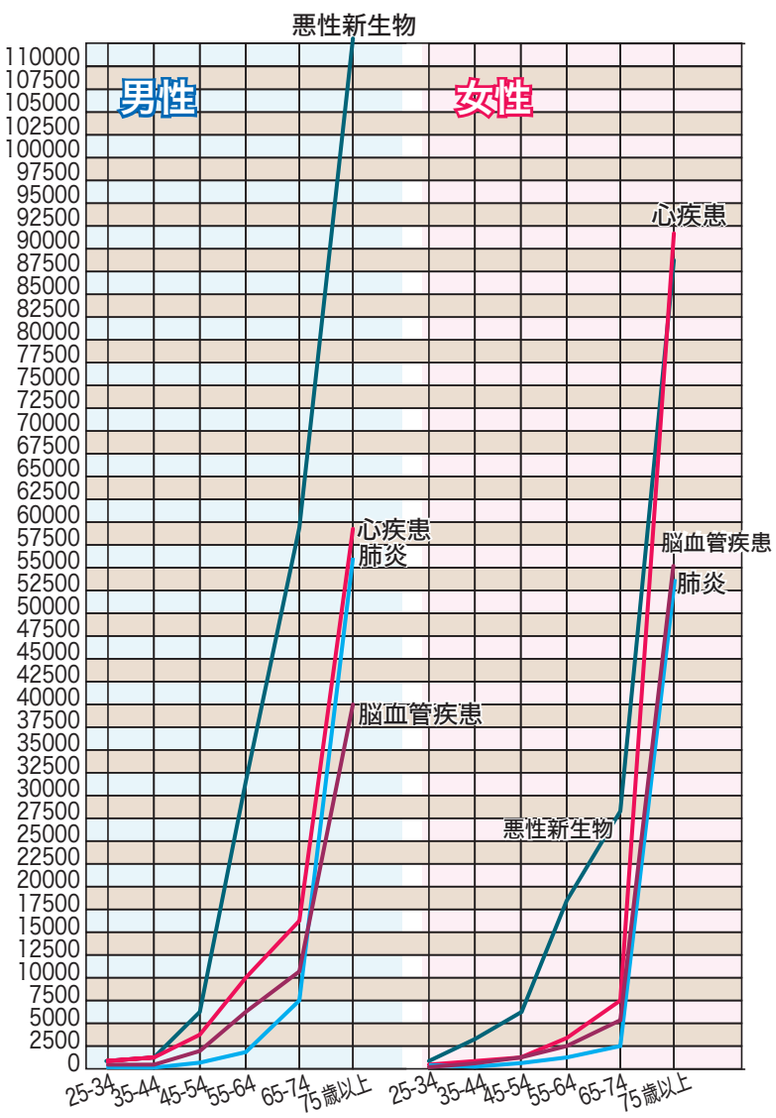
死亡とは直接関連しませんが、認知症や骨粗鬆症の患者数も多くなっています。とくに認知症が疑われる交通事故などもあり、注目が集まっています。

いずれも55歳を越えると何らかの疾病の心配がでてきます。

薬剤師として活動する中で、これらの患者さんと接する機会が多くなります。またこれらの疾患に関する医薬品をラインナップする製薬会社は貢献度が高い会社といえるかも知れません。

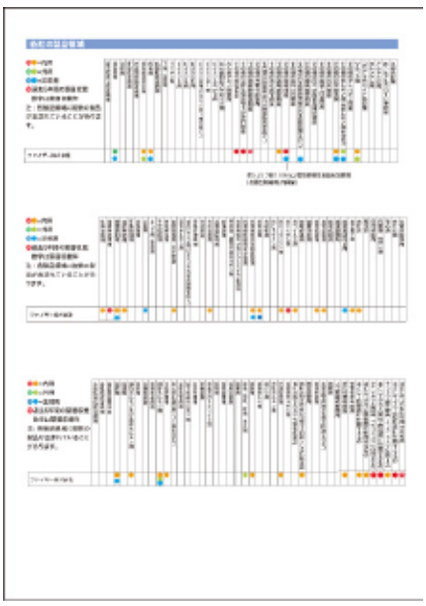
>>各社の製品領域 → 登録会員サイトでご覧ください（準備中）
>>各社の開発品 → 登録会員サイトでご覧ください（準備中）

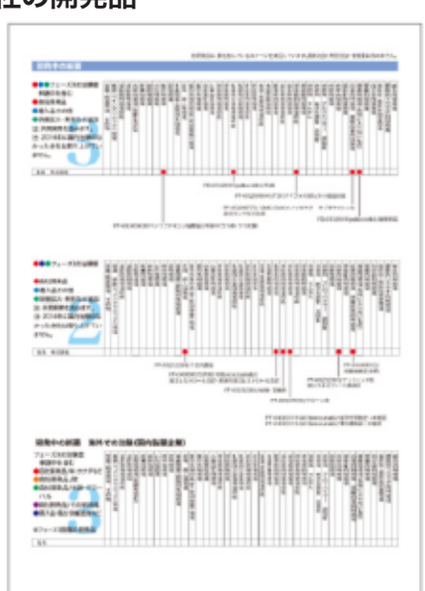
### 年齢別・主な死因（疾患）




単位/人　出典/厚生労働省　人口動態統計（平成24年）

### 各社の製品領域



### 各社の製品一覧

### 各社の開発品